

やまのめ

一関市立山目小学校 校報 No.14
2023. 8. 25 文責:校長 菊池



再確認

新型コロナ対応

市内も拡大傾向 感染時の出席停止は？

2学期初日は欠席も少なく、子どもたちは元気に登校できました。しかし、体育館の暑さと市内の新型コロナの拡大傾向から、リモートでの始業式としました。

現在の新型コロナ対応についてご確認ください。

本校の新型コロナ対応

- ◆ 1日を通して、児童の健康観察に努めます。
- ◆ 冷房中も、窓や扉を少し開け換気に努めます。
- ◆ せっけんでの手洗い、咳エチケットを指導します。
- ◆ 発熱等の症状がある場合、早退等の速やかな対応に努めます。

- ※ マスク着用は、児童・保護者の意向に任せます。
- ※ 濃厚接触者の特定はしていません。家族が陽性でも、本人に症状が無い場合は登校できます。

感染時の出席停止の期間 (文科省基準)

現在 (5類移行後)	以前 (5類移行前)
5日間 発症翌日から	7日間 発症翌日から
+	
症状軽くなって1日経過 発症翌日から10日の マスク着用推奨	

夏休みの思い出と 2学期にがんばりたいこと

2学期始業式 児童代表 6年C組 〇〇 〇〇

夏休み楽しかったことが3つあります。

一つ目は、夏祭りです。ゆかたを着て友達と屋台を楽しみました。自分の習い事であるダンスの発表もありました。たくさん練習してきた成果がでてよかったです。

二つ目は、お友達と盛岡に遊びに行ったことです。お友達のお母さんが思い出づくりにと計画してくださいました。仲のよいお友達とたくさんの時間が過ごせて、思い出深い一日となりました。

三つ目は、埼玉のおばあちゃん、おじいちゃんの家に行ったことです。ひいおばあちゃんにも会うことができ、元気な姿を見られてうれしかったです。また、新幹線や電車の乗り方を勉強したり、自然にたくさんふれたりする経験ができました。

夏休みは長いようで、やるべきことがたくさんあったり、勉強をするための時間をつくったりが大変でした。しかし、自分で計画を立て、メリハリをつけて過ごすことができたと思います。



2学期がんばりたいことは、二つあります。

一つ目は、児童会執行部の活動です。私は書記として活動しています。私たち6年生は11月で活動が終わってしまうので、執行部のみんなと力を合わせて、最後までがんばりたいと思います。

二つ目は生活です。生活の中でもあいさつをがんばりたいです。6年生として全校のお手本となるようなあいさつをしたいと思います。

「相手の目を見て」、「自分から」、「場にあった会釈をする」の3つのポイントを意識してがんばりたいです。

このように、今まで以上に積極的に動くことで、山目小学校をもっとよくしていきたいです。



◆祝 150 周年◆

自分らが歌った校歌と違う

昭和5年秋頃、小原倉蔵校長(第8代)が校歌について次のように紹介したと、当時の卒業生が記憶しています。校歌制定の年は不明ですが、昭和4~5年と考えられています。

作詞 上野 芳男 氏
東京高等学校教授 山目十二神出身
作曲 安齊 省一 氏
法学士 磐井橋畔安齊醤油店の生まれ
校歌の説明

1番に須川の雪、2番に磐井川の月、3番には蘭梅山の花と、雪月花(せつげつか)をうたいあげ、当時の自然主義的文学思潮を入れ、若人の進むべき道をさとす、すばらしい校歌である。

その後、昭和30年代以前の卒業生から、「今の校歌と自分らが歌った校歌が違う」との指摘があり、校歌の経緯が改めて調べられたのが、50年前の創立100周年の時でした。

その結果、昭和29年(創立80周年)音楽教育に詳しかった伊藤和三郎校長(第15代)が、「子どもに親しみやすい曲に」との願いから改曲を依頼し、現在の校歌へと改められていたことが分かっています。

改曲 橋本 秀次 氏
東京音楽学校卒 教科書編集者
改曲のポイント
これまでの3/4拍子から、行進などに使いやすい4/4拍子へ

さらに、上記の経緯が調べられた昭和49年(創立100周年)には、全日本器楽連盟理事の加藤道正氏に器楽合奏用の編曲をしていただき校歌の器楽合奏が始められています。

裏面：新旧校歌楽譜(旧校歌は聴き取りで楽譜にしたもの)